

# 静岡市の道路橋長寿命化に向けた取り組み

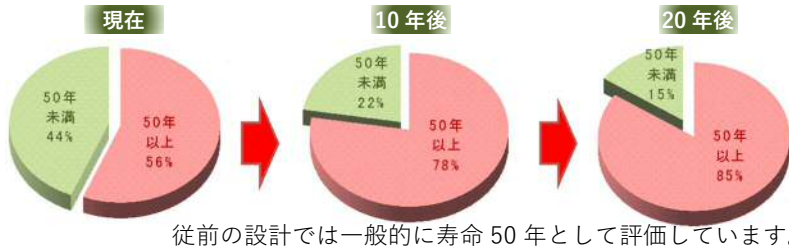
## 現状と課題

### ●道路橋の現状

- 2,610 橋（平成 31 年 3 月）と数多くの道路橋を管理しています。
- 国道など交通量の多い路線や重車両が通行する路線に架かる道路橋から、市道や生活道路の交通量の少ない路線に架かる道路橋を管理しています。
- 駿河湾に面した沿岸部から、降雪のある山間部まで様々な条件下に置かれている道路橋を管理しています。

### ●高齢化の進む道路橋

- 道路橋の高齢化は進み、20 年後には 85% の橋が 50 年を超える高齢橋となります。



従前の設計では一般的に寿命 50 年として評価しています。

### ●限られた予算

- 道路橋のメンテナンス費用は高齢化とともに増大していますが、メンテナンスにかけられる費用は限られています。

### ●市民の安心・安全の確保

- 法定点検により重大な損傷を確認しています。
- 重大損傷の発生によるメンテナンスの重要性を再認識しました。



出典：道路橋の重大損傷/国土交通省

## 取組み方針

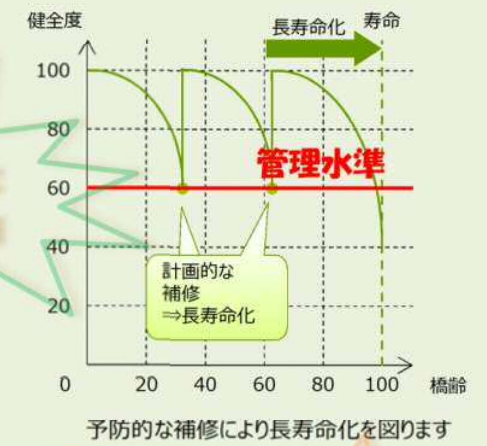
- 従前より取り組んできた「静岡市土木構造物健全化計画（橋梁編）」に法定点検結果や最新の知見を反映します。

現状と課題	長寿命化計画の取組方針
橋の高齢化	長寿命化の推進
限られた予算	LCC*を低減
安心・安全なインフラの提供	計画的な維持管理の推進

※ライフサイクルコスト：架けられてから取り壊されるまで橋の一生にかかる建設費や維持管理費などの総額

## 目標管理水準

予防保全型の管理



損傷が軽微な段階で補修

独自の指標！

しずスタ (静岡スタイル)

## 道路橋の長寿命化実行計画

### 道路橋長寿命化計画

[道路橋の維持管理に関する考え方]

- 橋をどのような状態に管理するか目標を設定
- 長期的な予算把握
- 短期的な修繕計画立案方法

### 道路構造物維持管理計画（道路橋編）

[道路橋の補修等に関すること]

区分	状態
I 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

### 道路橋耐震化計画

[道路橋の耐震化に関すること]

- 耐震補強レベルの明確化
- 耐震補強実施群の見直し・設定
- 維持管理計画との調整

### アクションプラン

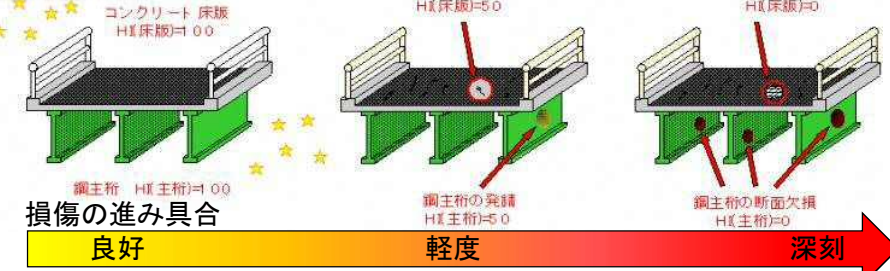
[道路橋の補修等の実施計画書]

- 補修・耐震補強等の短期実施計画

## 優先度



## 健全度



重要度

- 第1階層
  - 交通量【交通量が多い幹線道路】
  - バス路線【バス路線】
- 第2階層
  - 防災上の路線区分【緊急輸送路】
  - 代替性【迂回路がない、孤立する】
  - 交差点【桁下が鉄道や道路】
  - 塗架物【ライフラインが架架されている】
  - 大型車交通量【後方ダメージが大きい】
  - 構造形式【劣化しやすい構造】
  - 災害【被害環境下にある】

## 期待される効果

年 4.7 億円の縮減！！

約 30%ダウン 事業実施の効果



従来の対症療法的な維持管理

予防保全による計画的な維持管理

## 事業実施

### 人材育成

- メンテナンス研修の充実 定期的に研修を開催
- 外部研修の活用 道路橋点検士技術研修会参加 各種メンテナンス研修会の受講



### 情報の蓄積・共有

- 点検結果をデータベースに蓄積
- 補修事例を集約
- 情報の発信

### 経過観察

- 健全性の判定に基づき劣化進行の確認



## フォローアップ